

# 新 生

渡り鳥 平和な海辺 有る限り

小富士



東北新生園入所者自治会

平成二十三年六月 十日印刷  
平成二十三年六月二十日発行

新生第六十三巻 第二号

新 生

平成二十三年六月 十日印刷  
平成二十三年六月二十日発行

第六十三巻 第二号

## 東北新生園の概況

位 置	宮城県登米市迫町新田字上葉ノ木沢1番地 (仙台市より北方60km)	
敷 地	351,290㎡	
建 築 面 積	18,691㎡	
延 床 面 積	23,318㎡	
開 園	昭和14年10月27日	
医 療 法 定 床	280床	
現在入所者数	男59名 女64名 計123名	
職 員 数	153名 (平成23年4月1日現在)	
園 長	医学博士 横 田 隆	

### 東北新生園交通案内図







新生・第六十二卷第二号……………目次

表紙…「サギとシギ」……………桃生 小富士

赴任そして大震災……………事務長補佐…佐々木 紀子…(2)  
紅白梅に誘われて……………福祉室長…鏝水 久仁男…(4)  
家族紹介……………臨床検査技師…佐藤 恵美子…(5)  
随筆「靴」……………今野 きよし…(10)

|| 新生文芸 ||

詩……………選 者…佐々木 洋一…(12)  
短歌……………選 者…長田 雅道…(13)  
俳句……………選 者…山田 桃晃…(15)  
川柳……………選 者…栗石 隆子…(17)  
随筆「母と息子の会話」……………今野 きよし…(19)  
ごあいさつ……………補給係…鈴木 英人…(23)  
自己紹介……………看護師…鈴木 三智…(25)  
園内日誌 謝寄贈図書……………

## 赴任そして大震災

事務長補佐

佐々木 紀子

平成二十二年十月に仙台医療センターから東北新生園へ参りました。早いもので、こちらに参りましてから、八カ月が過ぎようとしております。まだまだ分からないことだらけですが、いろいろな人々にお世話になりながら、何とか過ごしてきました。これからもよろしく願います。

これまで、昔々の東北地方医务局、現在の仙台医療センター（当時は仙台病院）今はない郡山病院、福島県境に近い宮城病院、当園と同じく寛仁親王殿下にゆかりの深い西多賀病院、どの病室からも日本海が望めるあきた病院、二回目の仙台医療センターと移動しま

かった、会長をはじめとする入所者自治会にも、感謝の気持ちでいっぱいです。

深夜発生した四月七日の余震の時は、宿舎へ帰って食事をしている時でした。停電になって真っ暗な中、懐中電灯を手に、いろいろなものがひっくり返ってぐしゃぐしゃの宿舎を横目に、深夜出勤しました。このときは、本震の時よりも宿舎の中はひどいことになっていたので、かなりの覚悟をしての出勤でしたが、停電の復旧が早かったので、一カ月前のように何日も泊まり込むということはありませんでした。

震災から一カ月を過ぎた頃、所用で海沿いの道路を走る機会がありました。よく知っているはずの途なのに、そこに何があったのか思い出せないほど、また、今どこを走っているのか分からなくなるほど、町並みがなくなり、風景が変わっていました。そして、流され壊れ放置された車や、もと家であったらうかと思われる塊、ぐさぐさになったコンク

でしたが、東北新生園は八か所目ということになります。毎日がめまぐるしく過ぎてゆきますが、特に三月十一日の震災後はあつという間に過ぎて、一カ月後の大きな余震でした。

三月十一日午後二時四十六分、地震発生時は事務室で勤務中でした。おつ、大きい！と思うまもなく、いつ終わるのかと思うほどそれが繰り返され、これでもか、これでもかとおそつてきました。そのあとは、入所者の安全確認からはじまって、停電対策、食糧確保、燃料調達など次々と起きてくる難問に、園長・事務長・総看護師長を中心に、職員が一丸となって対応しました。着の身着のまままで過ごした数日間は、いつ何をしたのか思い出せません。無我夢中で、その時々に必要なことに対応していた状態でした。そんな中で、休日にもかかわらず駆けつけてくれた職員、家にある電池や食料、燃料などをとりあえず持ってきてくれた職員など、忘れられない一コマです。また、いろいろな面で協力を惜しまな

リート、粗みじんに切ったような木材、片付けようとして集められ積み重ねられた車達、そんな中を、道路だけが通っています。信号機は暗いままですが、自衛隊をはじめとするたくさんの人々の、一日も早く生活を取り戻すための「前進」が始まっていることを感じさせられる風景でした。津波におそわれて亡くなられた方達の、たくさんの方がそこここにとどまっているようで、ぞくつとする反面、その思いを受け止めて前へ進もうとしている、残された人々の思いも、伝わってくるようでした。

昔読んだ本に、日本列島を龍にたとえたものがありました。以前には優しく龍のお腹を洗っていた太平洋が、大きく口を開けて日本列島に襲いかかるものでした。龍というのは、人間が想像の上で作上げた、神様になったり沼や湖の主になったり、空に駆け上って雷雲を呼んだりもする、強いイメージがあります。それが、病み苦しんでいる姿が描かれて

いて、強く印象に残っています。今まさに、東北地方から関東地方にかけて、大平洋沿岸が大変な目に遭っています。日本列島という龍が、けがをして苦しんでいます。私たちの新生園は、幸いなことに、入所者も職員も無事だったことはもちろん、建物も大きな被害を受けずに過ごすことができました。このことに感謝しながら、今苦しんでいる「日本列島」という大きな「龍」が元気を取り戻すために、自分たちにできることを考えながら、力を合わせて実行していきたいと思っています。

## 紅白梅に誘われて

福祉室長

やりみず 水 久仁男

今年二十三年の春の訪れは、東日本大震災の影響からか遅いとおもっていました。

また、わたくし自身も大震災のため、早く転勤及び転居しなかったのですが、運送業者から足止めを余儀なくされて、東北新生園に勤務出来ない状態でした。参考ですが、私の後任の方も四月十五日からの勤務でしたので、大変な状態であったことの一端をご理解いただければ幸いです。

こちらに勤務して思ったことは、秋田と比べて（秋田県の方ごめんなさい。）雰囲気が良いなあということ。わたくしの妻が宮城県の鳴子出身ということもあり多分に鼻根

◀東日本大震災直後登米市内倒壊家屋



▶園内薬剤科内



目がありますし、わたくしも宮城県での勤務が通算で九年間であることも理由です。わたくしの一方的な思いですが、秋田に在住していたときには、よそいきお客さんという思いが強く感じていました。こちらにお世話になってから、まだ、一ヶ月もなっておりますが、故郷にいるという思いがあります。（出生は山形市です。）これも皆様の温かい心が、わたくしの心に響いているからであると推察しております。

皆様の温かい心根が影響して、着任した当初は梅もほころんでいませんでしたが着任して二、三日後に、梅の花が咲き始めて太陽の光も飲んでくれていると、勝手に感じておりました。一説には、わたくしの頭の光が光合成を増幅したためであるという学説もありますが。（根拠としては、大変薄い学説です。）

梅といいますが、尾形光琳の「紅白梅図屏風」が有名ですが、NHKの新日曜美術館の番組内で、紅白梅図屏風は、金箔を貼ったもので

はなく、金箔の継ぎ目をわざわざ描き出して  
いた可能性があるとの指摘がありましたし、  
紅白梅図屏風ではありますが、光琳は紅白梅  
を描きたかつたのではなく、河の童門を描き  
たかつたのだということを知り、なんとお  
ちやめな人物だつたのかと興味をもって観賞  
していました。願わくば、本物を観賞したい  
との願望がふつと沸いてくるこのごろで  
す。

本物といいますが、本物と偽物の見分け方  
は、本物をたくさん観賞することだそうです。  
柴門ふみさん（漫画家）がエッセイで記載し  
ている受け売りです。宮城県美術館・仙台市  
博物館等で本物になるべく勉強に励みたいと  
思っております。

こんなわたくしですが、皆様よろしくお願  
いいたします。

## 家族紹介

臨床検査技師

佐藤 恵美子

四月より臨床検査科に勤務しております、  
佐藤です。このたび六年振りに新人として、  
またお世話になることとなりました。月日が  
経つのは早く、当時小学一年生だつた一人娘  
は春から中学二年生です。私も：歳だけでは  
なく年々体重が増え、樹木の様に年輪をたく  
わえています。

出身は山形県西置賜郡白鷹町：山菜が豊富  
に採れる山のふもとで育ちました。白鷹には  
古典桜といって樹齢五百年から千年の桜が七  
本あります。私の生まれ育つた地区はそのう  
ちの二本を有しており、小さい頃皆で遊んで  
いた桜の木がある広場は、今は立派な観光地

となっております。そんなのどかな田舎から縁  
あつて宮城に嫁いで早十四年、家族三人で若  
柳に居を構えて丸六年、二年前からは小さな  
家族も増えました。今回はその新しい家族に  
ついでご紹介させて頂きます。

我が家の小さな小さな家族。名を『こまめ』  
といいます。平仮名でこまめです。彼女は犬  
種群・愛玩犬種群に属する：犬、そうです犬  
なのです。改めまして：チワワの『こまめ』  
と申します。平成二十年十月十二日生まれで  
現在二歳ですが、人間でいえば二十四歳くら  
いになります。

ロングコートチワワ（毛足の長いチワワ）  
なのですが、我が家の愛犬は何とも中途半端  
な長さの毛をしています。メスなのに鼻と口  
の周りをとりまくように毛が黒く、まるで泥  
棒の髭のような風貌です。それでも家族に  
とっては何とも言えぬ愛くるしい顔に見えて  
しまうから不思議です。体つきはスマートで  
引き締まっついていてバランスが良かったため、家族

としては美人ならぬ「美犬」と（勝手に）認  
識しています。完全室内飼いで、小さいなが  
ら散歩が大好きです。

生まれてからすでに五ヶ月が経つた状態で  
飼い始めたため、トイレもすつかり覚えおり、  
たいして手もかからず数日ですんなり我が家  
に慣れてくれました。主人も私もお互い実家  
で中型犬（外飼い）を飼つた経験があるので、  
「何とかなるさ」と思つて生活を始めました  
が、相手は世界一小さいと言われているチワ  
ワ：ゴミを食べたといえは大騒ぎ！餌を吐い  
たと言えば大騒ぎ！皮膚病で数カ月間動物病  
院に通つたりもしました（ちなみに週一回、  
注射での治療でした）。お腹に内出血が出た  
時には、山形からはるばる遊びに来た実家の  
両親をそつちのけで、涙目で動物病院へ一日  
二回も車を走らせました。「親バカならぬ犬  
バカであきれるよ」と何度言われたか分かり  
ません。

そんな親バカはとどまることを知らず：チ

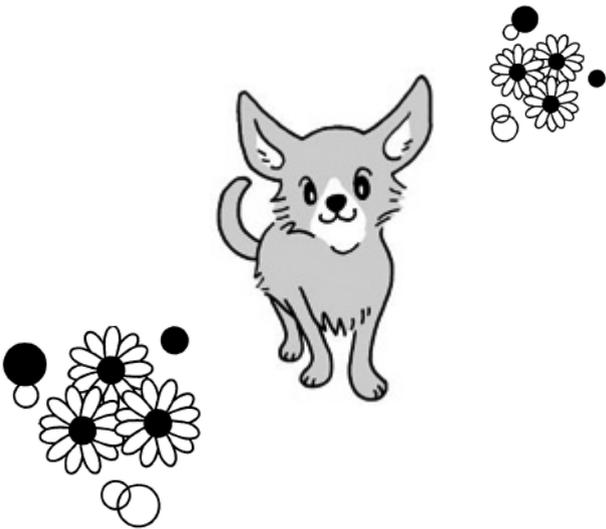
ワワは寒さに弱い犬種のため、冬は犬用のホットカーペットに犬用ヒーターに犬用の毛布、夏は暑さを凌ぐため愛犬「こまめ」は主人の実家で日中を過ごして夕方にご帰宅。なんと、犬のために私は送り迎えをしているのです(笑)。犬にとつてもやや疑問を感じる？二重生活ですが、小学生時代に毎日来ていた孫(私の娘)が中学に進学してめっきり来なくなり、淋しく思っていた祖父母にとつてはこまめが孫のかわりで楽しみの一つになっているらしく、「ゆっくり散歩できないとこまめがかわいそうだから…これからは毎日連れてこい。」と言つ義父の一言で、とうとう季節を問わず犬を毎日送迎する事になり…今に至っています(笑)。

そんな「こまめ」は我が家の一番のムードメーカーです。ほんの2kgの小さな家族に、私たちは幾度となく助けられてきました。家族の誰かが具合を悪くしていると、不思議とそばに寄って来てしばらくの間静かに寄り

添ってくれたり、娘が泣いている時も必ずそばに来て顔や手を舐めたりしてくれます。家族三人とも小さなこまめに慰められて、そして癒されて、気がつけばみんなが元気になっているのです。小さなこまめの『大きな力』を感じます。「こまめのいない生活なんて、絶対に考えられない!」と、若干嫌がついてる愛犬に頼ずりする娘を見ていると、なんだか姉妹のように見えてきたりもします。やっぱり親バカですね。

さて、犬を飼った経験のある方ならご存知と思いますが、犬もイビキをかきます。チワワも同様にイビキをかきます。リラククスして寝ているときは、半目で白目をむいて『フガー』とイビキをかいています。結構面白い顔です。そんな顔をのぞき見るのが私は大好きです。そしてチワワもオナラをします。結構大きな音だったりもします。オナラをした後は人間同様素知らぬふりをして歩き去ります。それがまた可愛いです。

なんとも取りとめのない内容になってしまいました。以上で家族紹介を終わります。普段は検査室の中にいるため、なかなか皆様とお会いする機会がありませんが、見かけた際は気軽に声をかけて頂ければ幸いです。皆様のご指導を頂きながら、これからも努力して参ります。今後ともよろしくお願い致します。



A 息子 信一 B 母

A 母ちゃん、あの鞆どこで買って来たのや。  
 B あの鞆か。  
 A あの鞆どこで買って来たかと思って。  
 B あの鞆あっちの方だ。  
 A あっち方では分からないもの。  
 B あれはあっちの方のずっと向こうの方だ。  
 A 教えられないのか。  
 B そうだ、教えられない秘密にするようにと言われて売って貰った。

A ほんで母ちゃんも鞆屋さんに行った事ないのか。  
 B うん、行ったことない。  
 A ほんで分からないのか。  
 B そうだ、わからないんだ、母ちゃんだった。  
 A ほだら、なんじよして買ったのや？  
 B 鞆さんが持て来たの買った。  
 A そんなに秘密なのか。  
 B そうだ、そう言って売って貰った。  
 A 随分秘密にするもんだね。  
 B それはそうさ。魔法の鞆だもの。  
 A へえ母ちゃん、そんなに良い物持ってい

A B  
 B そうだよ、信一の鞆と違うもの。  
 A そう言えば、母ちゃんの鞆本当にきれいだね。  
 B 横には赤い線が入って、縦には黄色の線が入っていたね。  
 A あの赤い線が入っているところに秘密があるんだと。  
 B 誰に聞いたの、その話。  
 A この話か、鞆さんに聞いた。  
 B そんなに良い鞆なのか。  
 A うんそうだ。  
 B それ今度見せてほしいね。  
 A この間、サンタクロースに出して見せるかと思っただけでも、間に合わなかった。  
 B どうして、おら早く見たいな。  
 A サンタクロースが日本に来るの遅れたんだって。  
 B だって魔法の鞆なんでしょう、早く見たいね。

A B  
 B サンタクロースの乗るソリ作るの遅れたから、来れなかったと。  
 A 早く頼んでおけばよかったね。  
 B そり作る時使うトナカイの角の伸びが遅れて、間に合わなかったと言っていた。

— 平成二十二年九月二十三日 —

A B  
 B そうだよ、信一の鞆と違うもの。  
 A そう言えば、母ちゃんの鞆本当にきれいだね。  
 B 横には赤い線が入って、縦には黄色の線が入っていたね。  
 A あの赤い線が入っているところに秘密があるんだと。  
 B 誰に聞いたの、その話。  
 A この話か、鞆さんに聞いた。  
 B そんなに良い鞆なのか。  
 A うんそうだ。  
 B それ今度見せてほしいね。  
 A この間、サンタクロースに出して見せるかと思っただけでも、間に合わなかった。  
 B どうして、おら早く見たいな。  
 A サンタクロースが日本に来るの遅れたんだって。  
 B だって魔法の鞆なんでしょう、早く見たいね。



詩

佐々木 洋 一選

◇ 入 選 ◇

《風の夜あそび》 今野 きよし

今朝二時に  
目覚めた  
難聴の  
耳にひゅうひゅう  
季節はずれの  
もがり笛  
じっと聞き耳

そば立てた

窓開けて

聞こうとするも

どこへやら

すつと風音

消えて行く

風も夜あそび

好きなのか

私と同じ

気ままが好きか

瞑想したら

耳の底

静かな静かな

吾れが居た

二度目の風は

遠慮がち

小さな音が

すぎ去った

【選評】

「風の夜あそび」 今野 きよし

今号の二篇では、「風の夜あそび」「鯉の網渡り」という表題の付け方がとてもすてきです。「風の夜あそび」では、心の中から聞こえてくるもがり笛や孤独な風が吹いています。が、「風の夜あそび」好きなのか、私と同じ気ままが好きかというフレーズに救われま

短歌

長田 雅道 選

◇ 入 選 ◇

佐藤 つや子

余震とは思えぬ強き揺れのきてまた停電の暮らしに戻る

【選評】

三月十一日の大震災の後の最大の余震を詠んだ一首である。停電の不便な生活が続いてやつと戻ったところ強い余震がありまた停電になった。この停電はいつまでつづくのであろうか。不安な心がよく表現してある。

今野 きよし  
補聴器をかけてはみるも聞きにくく低い話は特に聞えず

【選評】 心はずんで補聴器をかけた作者であろう。しかし以前はよく聞えた頃と比べると、はるかに聞きにくい。特に低く話されるとほとんど聞こえない。がつかりした気持ちがよく表現されている。

◇ 佳作 ◇

佐藤 つや子

巨大なる津波のニュースに疲れつつ梅咲く季節忘れて居たり  
また揺れる余震に体こわばりぬ幾度遭いても慣れることなし

津波にはかかわりなしと思いに近き親戚ゆくえ知れぬと

ささやかな米寿の祝いに添えられし落の臺の香ひろく広がる  
語り合うこともなき母看取りつつ姪の暮らしの長くなりゆく

今野 きよし

突然に真夜中の余震に目を覚まし一分ほどの揺れの長さを

ぽかぽかの春の陽気に誘われてセニアカーにて野山を巡る

目に見ゆるものみな春の気配あり風の音にも活気を覚ゆ

【選評】

寝坊の雁とは面白いと同じに一つの発見とみる。まだ幼い声を高々とかなしげにも淋しさを感ずる。それでも列を離れまいと飛ぶ姿がいじらしく見える。元気に北国へ帰るがんの列。

斎藤 照雄

揚雲雀どこにも姿見えません

【選評】

鳥の中でも心をひきつけるのはひばりではないでしょうか。ひとたび舞い上がると囀りをやめない。不意に降下して姿を隠すのが雲雀の習性。ひばりと云えば麥畑のイメージが強い。巢は降下した所とは別の所にある。



◇ 入選 ◇

今野 きよし

声高に寝坊の雁のまっしぐら

園 永 泊  
ゴムまりのリズムが春のリズムです

【選 評】 ゴムまりにも色々あり、子供の  
数え唄で突くまり。今日は見  
あたらないが過ぎし日を思い出  
す。あのリズムに乗ってかすか  
な響きが、もうそこまで春が来  
た喜びのリズム。

◇ 佳 作 ◇

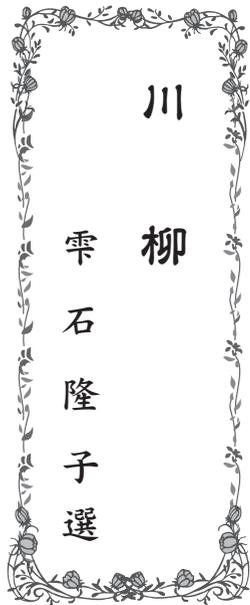
今 野 きよし

自動ドア開けて出入りの春の猫  
春風に押されて試歩の足伸ばす  
靴音の軽く近づき風光る  
見上げて尚上にもあり鯉幟

齋 藤 照 雄  
サラサラと春をかなでる小川かな  
軒先へ雀お先に宿す春  
豆まきの声高らかに療元氣  
最上川あちらもこちらも雪見舟

園 永 泊

そよ風の吹くや蝶々身を沈め  
春先やつなぐ手と手に降るるなり  
落の臺空き家の庭をせまくせり  
ころもがえされど政治のてがあやし



◇ 入 選 ◇

桜 山 南 仙  
なんとなく土の匂いから春の声

齋 藤 照 雄  
夢抱いて抱いて明日を殺すまい

桃 生 小 富 士  
ふる里に墓だけ残すやるせなき

【選 評】

今年の春は千年に一度とも言  
われる大災害に見舞われ、どの  
角度からでも作句しても震災に繋  
がってしまう。川柳は時代の考  
証人の役割があるのだろうと思  
う。

入選の一句目は感覚の鋭さが  
光る。お目の不自由になっ  
ている作者だからこそ、土の匂い  
にも敏感に春を感じとったのであ  
ろう。

二句目の上句の「夢抱いて抱  
いて」と畳み込み、下句で「明  
日を殺すまい」と結んでいる。  
この二物衝撃がインパクトに  
なっていて、作者の思いの強さ、前  
向きな生きざまに感動する。

三句目の「ふる里…」の下五  
は、なんとも身につまされる。  
作者の望郷の思いの深さが秀句

を生んだのであろう。

斎藤 照雄

◇ 佳 作 ◇

今野 きよし

露の臺地震の力に押し出され  
外科処置の園長先生にこにこと  
隠し芸ほめられ照れる花の宴  
良いことがあるかと聞かれただ黙す  
神に出す答案書くよなわが人生

桜山 南仙

雪だるまやんわり太りボタン雪  
口笛に緑めく風ひかりくる  
生ゴミがぐずめいている日向ぼこ  
菜の花が揺れて蝶々スキャンダル  
幸せの掌の内にある母の声

花吹雪酒のさかなにして飲めり  
春風へときめく胸は俺のもの  
おくれ毛がみどりの風に色っぽい  
踏まれ来て麦逞しく逞しく  
運勢がいいのにやたらケガに泣き

桃生 小富士

大津波生きて地獄を見てる夢  
汚染水しっぺ返しが怖い海  
煮ても焼いても処理出来ない放射能  
東北の我慢強さが助け合い  
3・11廢墟となった我が故郷

随筆

母と息子の会話

今野 きよし

A 息子 B 母

A 母ちゃん、この間六月十二日の看護の日  
に写した写真どこ見ていたのや。

B ああ、あれか。明後日見ていた。

A 明後日見ていたのか。

B うん、そうだ。明後日見ていた。

A そうか、かあちゃんって、ずいぶん遠く  
まで見えんだね。

B 母ちゃんになると、それくらい見えるん  
だ。

A それでは、明後日見ながら夕方車で帰る  
時危ないね。

B お前、おれのこと心配しているのか？

A そうださ、大事な母ちゃんだもの。

B ありがたいな。

A おら、やっぱり車で帰る時は、今日見て  
いた方がええと思う。

B 母ちゃんもそう思う。

A ほんだべ、おらもそう思うもの。

B ところで母ちゃんは明後日と明日と今日  
とちゃんと見ているんだと。

A へえ、母ちゃんって大したもんだね。

B そのくらい見えなかったら母ちゃんには  
なれないもの。

A ほんで、母ちゃんも校長先生と同じだね。

A B どうして同じなのや？  
 A B 一年生の入学式の時、学校の裏山を通して見えるから良い子になるように言われたんだ。  
 B その事覚えていたのか。  
 A B ほんだほんだ、今思い出した。  
 B やっぱりお前はさと息子だな。  
 A B さと息子なら、母ちゃんおれどこ大事にすると言うんだべ。  
 B このごろさと息子は母ちゃんを大事にするの言うんだ。  
 A B うん、さと息子も時代によって色々変わるんだね。  
 B そうだ、世の中どんどん進んでいるからな。  
 A B この間、母ちゃんと同級生だつて人に会った。  
 B 何て名前の人や？名前言わなかつたのか？誰だべな。  
 A B 母ちゃんのこと、陸上選手だつて言つて

A B いた。  
 B それではこうちゃんかな？  
 A B 「こう」とかつて言った。  
 B それから何か言わなかつたか？  
 A B あんたの母ちゃんジョギングやめたのかつて言つていた。  
 B やっぱりこうちゃんだ。そうか、そう言ったのか。  
 A B うん。そう言つていた。  
 B 私とこうちゃんと、絵の上手なすみちゃんと三人は仲の良い友達だつたんだ。  
 A B 早く会いたくなつて言つていた。  
 B 私は見護学校に入ったし、こうちゃんは百姓好きだから、農学校に入った。  
 A B 随分いろいろな友達居たんだね。  
 B すみちゃんは美術の学校に進んだんだ。  
 A B うん、難しくなつて来たね。  
 B それから何か言わなかつたか？  
 A B 今はデリシャスつて言うトマト作つてい

B デリシャストマトか、なんでも鹿島台で作つているといふ話だ。水分が少なくてきりつと作つてゐる話だ。  
 A B 母ちゃんの友達なかなか難しい仕事やつてゐるんだね。  
 B うん、そう言えばそういうことになるのかな。  
 A B 母ちゃんの友達に会つて良かった。  
 A B 髪洗うかなあ。忙しくなつた。  
 A B 何、急に髪洗つて会いに行くの？  
 B 明日休みだからコウちゃんに会つてくる。  
 A B 母ちゃんつていつでも忙しいんだね。  
 B そうか、そんなにせっかちか。  
 A B そんなにせっかちにして、失敗しないの？  
 B たまに失敗する事もあるよ。  
 A B ほんだべな。いつもでないの？  
 B たまにあるけど、たまたまだよ。  
 A B ああ、髪洗いやらなくとも良いの？

A B 明日にする  
 B ほだよね、母ちゃんとゆつくり話したのしばらくぶりだもの。  
 A B 母ちゃん、そんなにいつも忙しくばかりしていたのか。  
 A B おら、学校の話するかと思うと、「今日だめだ。この次この次」つて言われて。そんなに忙しいふりしていたのか。やや悪かつた。これからはゆつくり話聞くら。  
 A B これからはゆつくりしてね。  
 A B お前いつも話したのが遅いものな。  
 A B おら、話するの苦手なんだ。  
 B 男の子はそれぐらいでええんだ。  
 A B そう言われると、おら楽になつた。  
 B そんなこと気にしていたのか。  
 A B うん、これからは用のある話は早くするようにする。  
 B そうか、それはええことだな。これから世の中に出なけなからな。

- A ああ、車の音だ。父ちゃん帰って来た。  
 B そうだ。あの車の音間違いない。  
 A ほんだほんだ、あの音父ちゃんの車だ。  
 B 父ちゃん今日どこさ寄って来たのかな。  
 B おばあさんのとこさ寄って来たのかもしれない。  
 A どうしてわかるの。  
 B 鼻唄まじりできたもの。  
 A やっぱり母ちゃん明後日見ていたんだね。  
 B そうだ  
 A 父ちゃんたい焼き買って来たんでないの？  
 B おばあさんのところさ寄るとたい焼き買ってくるものな。  
 A そうか。  
 A 話これで終わりにするのか。  
 B おら腹減った。  
 A おばあさんも寝たし、ご飯にするか。  
 B うん今日とても良かった。

B そうか、それは良かったな。

平成二十二年九月二十三日



## ごあいさつ

補給係

鈴木英人

四月より会計班補給係としてお世話になることとなりました、鈴木英人と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

今回の異動で二度目の東北新生園での勤務となります。前回は、平成十六年十月から平成十九年三月までの二年半の期間を会計係としてお世話になっていました。その後、仙台市にあります東北厚生局にて四年間勤務をし、今回の異動となりました。

四年間ほど新生園を離れていましたので、赴任に際し不安もありましたが、園長先生をはじめ、みなさんに「おかえりなさい」と、あたたかいお言葉をかけていただき、安心し

て勤務を開始することができました。ありがとうございました。

赴任当初、園内の各職場にお邪魔いたしました、ごあいさつに伺ったのですが、やはり私が以前勤務していた当時と大きく違うと感じた点は、メープルケアセンターやさくらホールといった建物です。管理棟での勤務ということもあり、まだ数えるほどしか新しい建物へは足を運んではないのですが、設備の立派さには驚くばかりです。入所者の方も快適で安心した生活ができるものと感じました。

そして、今回の赴任にあたり一番の気がかりとなっていたのは震災の影響でした。赴任後に、当時の状況等を職員の方々からお聞きしたところ、ライフラインの復旧までの間、重油の調達などで相当大変だったとのことでした。また、職員の方におかれましても、家屋の損壊等の被害にあわれた方もいらっしゃるとのことでした。このような状況の中で、



も精一杯務めさせて頂きたいと思っております。ご助言・ご指導等よろしくお願い致します。



この度は、東日本大震災の被災地に所在致します当園（東北新生園）を、各方面の多くの方々からご心配とご支援頂きまして、厚く感謝申し上げます。

東北地方では、沿岸部を中心に多くの尊い命が奪われました。心よりご冥福をお祈りすると同時に、被害を受けられなかった皆様に心からお見舞い申し上げます、一刻も早い復旧・復興がなされ、安心出来る生活を取り戻せますよう心よりお祈り申し上げます。

東北新生園入所者自治会

代表 久保 瑛 二